

未来の地球環境と社会のための新しい情報基盤を構想する：総合討論 Designing a new data information infrastructure for future global environment and societies: a General discussion

近藤 康久^{1*}; 石井 励一郎¹; 中野 孝教¹; 安富 奈津子¹

KONDO, Yasuhisa^{1*}; ISHII, Reiichiro¹; NAKANO, Takanori¹; YASUTOMI, Natsuko¹

¹ 総合地球環境学研究所

¹ Research Institute for Humanity and Nature

地球環境の研究は、自然科学のアプローチと人文・社会科学のアプローチの両方からなり、学際研究 (interdisciplinary research) だけでなく社会の多様なステークホルダーとの協働研究 (transdisciplinary research) も含まれる。それらの研究は、気候モデルのようなグローバル (マクロ) スケールのもからフィールド調査のようなローカル (ミクロ) スケールのもまで、マルチスケールに展開される。また、観測・調査から取得されるデータは地球観測データのような定型的なフォーマットをもつものから、1 回ごとに質問項目の異なるインタビュー記録のようなもので多岐にわたる。このように雑多なデータを統合して、地球環境の未来に資する学知を紡ぎ出すには、どうすればよいのか。日本の、世界の研究者コミュニティにどのように働きかければよいのか。セッションでの研究発表を踏まえ、総合的に討論する。

コメンテーター (予定): 檜山哲哉 (名古屋大学)、村山泰啓 (情報通信研究機構)、陀安一郎 (総合地球環境学研究所)

キーワード: 地球環境, 情報統合, 学際研究, 社会との協働研究, マルチスケール・アプローチ

Keywords: global environment, information integration, interdisciplinary research, transdisciplinary research, multi-scalar approach